

Ⅲ. 財務の概要

1. 平成29年度の経営状況と財務の状況

(1) 特徴

平成29年度事業の特徴は【事業の概要】を参照してください。

平成29年度は、「第2期学園・大学中期計画」（以下、第2期中期計画）における第1フェーズ（前半3年度）最終年度として、スポーツ科学部の開設初年度対応を始め、社会福祉学部（4専修化）、健康科学部福祉工学科（新専攻）等の既存学部・学科改革、日本語教育センター開設、看護学研究科設置準備等の全学的な教育改革を進めました。また、次年度を始期とする第2期中期計画第2フェーズ（平成30年度～32年度）に向けて、教育改革課題等に対応した各キャンパスにおける教育・研究環境の整備・充実（教育情報化及び学園基幹システムの更新、美浜キャンパス教室等の改修等）に取り組みました。

(2) 経営状況

1) 事業活動収支計算書について

事業活動収支計算書は、収支を「教育活動収支」、「教育活動外収支」、「特別収支」に区分して表示し、この3区分を集計した事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするものです。

平成29年度は、事業活動収入計103億4千8百万円に対し、事業活動支出計は110億1千9百万円となり、収入と支出のバランスを示す事業活動支出比率は106.5%となり、対予算比1.3%の改善となりました。

① 収入について

学生生徒納付金収入は、学費改定（平成27年度改定：3年目）ならびに看護学部の学年進行、スポーツ科学部開設、通信教育部幼保特例措置対応の科目等履修生（通信教育部）数増加等により、予算同水準の約81億円となりました。

補助金収入は、基盤的資金である「私立大学等経常費補助金」が学生数に連動して約10億円の増額交付（対昨年度比8,500万円増）となりました。競争的資金については昨年度に引き続き『地（知）の拠点整備事業（COC）』（2千万円）や『地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）』（5百万円）、『大学教育再生加速プログラム（AP）』（3千万円）が交付されています。

② 支出について

事業活動支出は110億1千9百万円であり、このうち人件費は約51億円、教育

研究ならびに管理経費支出は約 57 億円でした。スポーツ科学部開設に伴う人件費及び教育研究経費が支出増加要因となったものの、光熱水費の単価値下げ、事業内容見直し等による経費圧縮により、期首目標の総枠 6 千万円を超過し、対当初予算比で約 1 億円の支出減となりました。

2) 資金収支計算書について

資金収支計算書は、当該年度の教育研究活動等に対応するすべての資金収入及び支出の内容を明らかにするものです。平成 29 年度の資金収入・支出規模は約 150 億円でした。前述の学生生徒納付金収入の増加に加え、平成 30 年度入学者数が入学定員を充足（定員比 1.05）したこと等による前受金収入の増加（対昨年度比約 1 億円増）や教育研究ならびに管理経費の抑制などにより、次年度繰越支払資金は約 47 億円となり、昨年度より約 2 億 5 千万円の増加となりました。

3) 貸借対照表について

平成 29 年度末の資産総額は 357 億円であり、その内訳として固定資産 243 億円、特定資産 63 億円、その他固定資産 1 億 8 千万円、流動資産 50 億円となりました。

一方、負債総額は 38 億円で、内訳は固定負債 15 億円、流動負債 23 億円（有利子負債はない）でした。また、基本金総額は 396 億円、純資産は 319 億円であり、前年度より 6 億 7 千万円減少しました。これは、美浜キャンパス講義棟の改修（7, 8, 10 号館の空調機更新）に伴う建物ならびに構築物の一部除却（約 8 千万円）や運用資産の評価替えに伴う特定資産の取り崩し（約 1 億円）、スポーツ科学部棟にかかる減価償却（約 1 億円）の開始等が主な要因です。

以 上